

10 大手の外資系企業はアジアにおける研究開発拠点を日本以外に確立しつつある

企業名	アジア諸国における増大・新設	日本における縮小・撤退
ファイザー		<ul style="list-style-type: none"> 2007: 中央研究所(疼痛、消化器領域、380人)を閉鎖
グラクソスミス クライン	<ul style="list-style-type: none"> 2007: 上海に神経科学にフォーカスした研究開発センターを新設。2010年までに1000人以上を採用する予定 	<ul style="list-style-type: none"> 2007: 筑波研究所分子標的型医薬フォーカスを閉鎖。100人の従業員は開発部門に移転
ノバルティス	<ul style="list-style-type: none"> 2007: 1億ドルを投資し上海に生物医学の研究開発センターを開設 	<ul style="list-style-type: none"> 2008: 年内に筑波研究所(循環器領域)を閉鎖し研究機能は米国の研究拠点に移管
サノフィ-ア ベンティス	<ul style="list-style-type: none"> 2008: 創薬チームを中国に、医薬開発センターをインドに新設 	<ul style="list-style-type: none"> 1998: ヘキストが持っていた川越の創薬研究所(骨、免疫領域フォーカス)を合併を機に閉鎖
アストラゼネ カ	<ul style="list-style-type: none"> 2007: がんフォーカスした創薬拠点として上海にInnovation Centre Chinaを設立 	<ul style="list-style-type: none"> 創薬研究施設なし
ロシュ	<ul style="list-style-type: none"> 2004: 上海に1100万ドルを投資し研究開発センターを新設 	
イーライリリ ー	<ul style="list-style-type: none"> 2007: 5年間で15000万ドルを投資し、シンガポールにがんおよび代謝性疾患領域の創薬研究センターを設立 	<ul style="list-style-type: none"> 創薬研究施設なし
アムジェン	<ul style="list-style-type: none"> 2007: インドにインドおよび東アジアにおける臨床開発拠点を新設 	<ul style="list-style-type: none"> 2008: 日本における事業を武田に売却
バイエル・シ エーリング		<ul style="list-style-type: none"> 2007: シェーリングの神戸リサーチセンター(再生医療研究)を閉鎖 2004: バイエル中央研究所(泌尿器研究)を閉鎖